



三春中学校だより

第 50 号

発行日 令和 2 年 1 月 22 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【日々の努力と日頃の積み重ね！～TSC中ブロック冬季大会で教えられました。～】

1月18日（土）に、郡山西部第二体育館において、令和元年度TSC中ブロック冬季大会が行われ、本校女子テニス部が堂々参加してまいりました。

選抜された6チームの総当たり、『濱中式』という方式で行われた大会でした。1ゲームごとにペアが代わり見ているだけではどちらの学校が勝っているのかよくわかりませんでした。これまでの練習の成果を試すと共に、よりレベルの高い相手から学ぼうと真剣そのものでした。

応援していると、県中地区のソフトテニス競技専門委員長で小野中学校の顧問の先生から声を掛けられ、本校チームが選抜された理由について教えていただきました。田村地区でも実力のあるチームであると共に、大会ではいつもその準備から後かたづけまで本当に一生懸命にやってくれている。そんな技術と共に、選手として、中学生として優れたチームを選抜・推薦しましたということでした。

校長としてこんなうれしいお話はありません。どの学校でも部活動では競技力向上をめざす一方で、顧問の先生方は、相手を思いやり仲間を信じたり人のために何ができるかを考え行動したりと、人としてどうあるべきかという人間教育の部分もとても大切に指導にあたっています。よくがんばっています。



【20日は大寒！～校門前の雪のオブジェと寒さに耐えて春を待つ滝桜の子孫たち～】

2020年の『小寒』は1月6日、『大寒』は1月20日です。『小寒の氷大寒にとく』と言われ、小寒よりも大寒のほうがかえって暖かく、物事が必ずしも順序どおりにいかないことのとえとして使われます。

15日（水）は雪となりましたが、降り積もった雪は、翌16日には校門の前で誰かの手と足（？）により自動掃除機のような円い不思議なオブジェに仕上げられていました。また、厳しい寒さの中、中郷小学校からいただいた滝桜の子孫たちは、その寒さに耐え、昇降口前に、そして、大階段から見上げる裏の土手の中ほどにしっかりと根を張り生きています。

今年の『大寒』は雨模様でした。オブジェは既になく、濡れた地面の上を子どもたちが元気に、そして、静かに登校していきます。

今日1日、学校の中でたくさんのお話を学び、着実に子どもたちが成長してくれることを願わずにはいませんでした。



【学校の至る所の雑巾がけが整っています！～校舎内を巡回し、落ち着きを感じます。～】

今日も校内の雑巾がけはとてもきれいに整えられ次の清掃の時を待っています。

学校評価アンケートの【施設・設備】の項目で、『学校は学習の場として環境が整っている。』の質問に対し85%、『学校は清潔で美しく整っている。』の質問には何と100%のみなさんが『あてはまる・ややあてはまる』とご回答いただきました。

これに満足せず、アンケート結果をうけた今後の取組として以下のとおり取り組んでまいります。

1 清掃活動のさらなる充実を図る。

【『命の輝き』！～共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに清掃にも取り組みます。～】

第1 やる場所がないから早く終わるのではなく、清掃時間をしっかり活用して、普段手が回らないところまで徹底して清掃する。

第2 役割分担をしっかりとし、能率的に掃き掃除から拭き掃除までスムーズにつながる清掃にする。

第3 隅々まで掃き掃除、心を込めて拭き掃除、移動したものは元に戻すなど連携・協力した清掃を心がける。

第4 班長さんのリーダーシップと班員の協力・バックアップを心がけた清掃とする。

2 気づいたらすぐ直す。

【これがわが校の底力！～自ら気づき、改善し、よりよい学習環境をめざします。～】

ある日散らかっていたホームベースをしばらくしてまたのぞいてみると、ロッカーに鞆が整然と入れられ、床はピカピカ光っていました。ホームベース全体がとても整えられ、美しい学びの環境となっていました。誰かが気づき、きれいに整えて毎日の生活をおくろうと考え行動してくれたのです。

“気づいたらすぐ直す”ことを第一に取り組みます。

【整った学びの環境のもう一人の立役者！

～校内・校外作業員さん、いつもありがとうございます。～】

町教育委員会にお願いし、三春中学校には1名の内部作業員さんと2名の外部作業員さんが、三春中学校の整った学びの環境づくりの強力で大切な一員として勤務していただいています。

この日も、寒い中、玄関ホールのモップ掛けや出入口付近や水道の受水マスの清掃など、子どもたちや先生方が気持ちよく学校生活をおくることのできるよう努めていただいています。

内部作業員さんにはいつも学校だよりの印刷をお願いしたり、掲示を整えていただいたり、きれいに清掃していただいたり、配膳をお手伝いいただいたりと、こちらもさまざまな校務のお手伝いをいただいています。

三春中学校の整った学びの環境は、さまざまなみなさんの努力に支えられ続けてまいります。

【1日4000人が救われます！

～JRC委員会『エコキャップ活動週間』でペットボトルが続々集まっています。～】

1月21日（火）の朝、校門であいさつしていると、ペットボトルのキャップがびっしり詰まった大きなビニール袋を重そうに抱えた女子生徒が車から降りてきました。

本校生徒会JRC委員会のみなさんが働きかけた『エコキャップ活動週間』のペットボトルキャップ集めに呼応したものでした。生徒昇降口にはそのペットボトルの詰まった袋が置いてあり、隣のボックスの中をのぞいてみると、そこにもびっしりとペットボトルのキャップが積まれていました。CGのパネルには各学級のJRC委員が作成したポスターが全クラス掲示されています。そこには、『ワクチンさえあれば助かる子どもの命が1日4000人失われている』と書かれてありました。自分以外の人のために、困っている人のために自分にできることは何かを考え行動する、すばらしい取組です。

キャップがございましたらご理解・協力よろしくお願いします。

